

第12号

中央大学学会東京文京区支部

〒113-0033 東京都文京区本郷4-26-8 松しん内

TEL. 03(3814)7059 FAX. 03(3814)0583

メール. shigeru@matsu-shin.jp

編集 広報委員会

発行人 野口昇兵

白門文京

平成二十六年年度定時総会

新支部長に野口昇兵氏

平成二十六年六月三十日(月)、文京区支部第十九回定時総会を東京ドームホテル後楽園飯店で開催し、四十七名が出席しました。

第一部の総会では、平成二十五年度事業報告及び収支決算、平成二十六年事業計画及び収支予算について審議し、満場一致で可決しました。

また、本年度は役員の変更を行いました。中川支部長はこの二年間、支部の発展に活躍頂きましたが、本人の申し出により退任されることになりました。

支部長には野口昇兵氏(昭和四七年法卒)、新たに副支部長に戸井田ひろし氏、浮田秀則氏、相談役に中川浩治氏、土屋頼子氏に就任頂くことになりました。

第二部では、駒澤大学名誉教授、武蔵野学院大学名誉学長の大久保治男先生による『江戸文化と言葉』の講演及び、桂やまと師匠による『落語』を開催しました。桂やまと師匠は平成十一年三月中央大学を卒業後、桂才賀師匠に入門

し、平成二十六年三月真打に昇進されました。

記念写真を撮影後、第三部の懇親会となりました。来賓の方は、中央大学常任理事松丸和夫様、理工学部長石井靖様、学会本部副会長

三和幸彦様、練馬区支部から石塚様、宮代様に出席いただき、それぞれの方から祝辞、挨拶をいただきました。乾杯のあと、会員相互の親睦を図りつつ、出席者の皆様からは各々自己紹介をいただきました。最後は新会員で元中央大学応援団長の内布諒さんの音頭により中央大学校歌を合唱し、盛会の内にお開きとなりました。



後楽園飯店の専用階段を再び占拠した白門文京の紳士・淑女

平成26・27年度役員

名誉会長 大久保治男

会長(支部長) 野口昇兵

副会長(副支部長) 倉田金三郎

久代 信次

相談役

中川 浩治

田中 祺益

幹事長(事務局長) 松沼 茂

副幹事長

加藤 康人

田村 悟

監事 大根田昌生

幹事 浅井 誠一

大和田 實

奥野 光績

菊池 靖雄

染野 郁郎

玉井 三郎

松田 茂

山田 伸吾

中央大学評議員 野口 昇兵

白門学会評議員 松沼 茂

中央大学商議員 松沼 茂

大久保治男 田中 祺益

学員会幹事 相場 有二

学員会協議員 松沼 茂

大久保治男 久代 信次

野口 昇兵 田村 悟

就任のご挨拶

第五代支部長

野口 昇兵



この度、学生会東京文京区支部第五代の会長兼支部長を仰せつかりました野口昇兵でございます。

昭和四十七年三月、学園紛争の為に卒業式は挙行されず、中庭二号館事務所の窓越しに卒業証書の授与とお祝いに缶ビールを頂きました。卒業後四十年余りを迎えた年の創立一二五周年記念式典での中央大学歴史パントマイムには感涙に咽びました。嗚呼、母校とはかくも良きものであるとしみじみ思いました。

今日私が有りますのも、多大なるご指導を賜りました中央大学の先輩でございます。坂本市郎先生、学外大学教授白門会顧問、大久保治男先生、学員会東京文京区支部名誉会長・学外大学教授白門会会長には、未熟な私に親身なるご教示を賜りました。先輩諸

兄の一致点は、母校愛であります。人、夫々のルーツは異なりますが、出会いは新しい道を創り出す原点であります。創り出すものを後に続く者へ伝え続けるには自己の人としての生き方に責任を負うという自負心と愛が必要だとも教えられました。

私は、歴史と文化の香りと愛情に満ちた学生会東京文京区支部の会長として先輩諸兄

の教えを胸に、第一に、会員同士の親睦と和の結集。中央大学設立の理念「実地応用の素を養う」の基に時代の変化・多様性に対応すべく大学の発展、後輩の育成等の支援活動の充実。第二に、「会員ご家族が参加される各種行事の開催」であります。ご家族にも白門会の実情を知って頂き、ご子息を始め親族・友人・知人も中央大学へ入学して頂き、一人でも多く白門会の一員になって頂くことであります。

第三に、会員増強であり、伝統あるこの会がより一層発展し、より円滑に末長く継続する

るために、何よりも若い方々の会員増強を、会員と共にやりたいと思います。第四に、他クラブとの交流をより一層深め、様々な会合・行事を催して参りたいと思います。

これらを、事務局長を始め会員の皆様方のご協力とご支援の下で、私の足りないところの補填や、言動に、羅針盤としてご指導を頂きながら、伝統あるこの会を強固なものに確立して参りたいと存じております。

ご協力とご支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

平成二十六年年度総会講演会

「あいまい」文化と「ことば」

武蔵野学院大学名誉学長 大久保治男



日本は我が国といい、和の国、倭の国であり、島国で小ぢんまりした血縁・地縁を重視する「ゲマインシャフト」的共同体である伝統がある。日本人同士はお互いにその

場の「宥気」を「察して」「あ・うん」の呼吸や「行間を読む」「間」をあけ「沈黙」（目は口ほどに物を云う）し「笑ゴマ」をやり、「本音と建て前」や「腹芸」等をやって、人と人のコミュニケーションを上手にやり「波風を立てず」「丸くおさめ」「ぶらかし」を含め協調し、社会全体が平和共存という「ハイコンテクスト」の世間体、同調行動、恥、自

嘲、責任回避の「主体性欠如」「自我不確実」の日本社会の特色がある。（利害や法・組織や自己主張、対立の激しい「ゲゼルシャフト」の欧米の文化と対比）

右の特色よりも「あいまい」文化となり、「ことば」においても「おまかせします」「みつくるって」「お世話さま」「お陰さまで」「どうぞよろしく」となり、イエス・ノーをはっきり云わないので「どうせ」「やはり」「せめて」「まあいいか」「…なんてね」…とあいまいな表現をする。生活様式では箸、畳の部屋、

ちゃぶ台、下駄、風呂敷、着物、ふすま、障子、盛り付け等多目的に使い、あいまいな物品がかえって便利で合理的で、良い面もある。「あいまい」文化の価値観も「わび」「さび」「粹」「はかなさ」「張り」「もののあわれ」等不可解な難しさを昇華させる。政治家や役人の表現も正に「あいまい」であり、諾否等を「ぶらかす」。有名な笑い話——役人が正しい強い市民の要望に対し「あなた方のおっしゃる事はごもつともです。この件を前向きに善処するにやぶさかではありません」と答えた。（これはやらないというノーなのだが）その場をあいまいにして逃げたのである。



代表取締役 矢野 博丈

株式会社 大劇産業

〒739-6501 広島県東広島市西条吉行東1-4-14
TEL:082420-0100 FAX:082421-2740

後楽園キャンパスの未来

理工学部長 石井 靖



礪川公園を抜けて富坂を上
がると、戦没者霊苑の先に、
中央大学後楽園キャンパスが
ある。手前の入り口は通称東
門と呼ばれ、その先の右手に

は新2号館脇のウッドデッキ
が伸びている。春日通りに沿っ
て東門の少し先に白い門柱を
配した正門（白門）がある。

正門を抜けると櫓並木が続
き、6号館の前に至る。そこ
を左に折れて6号館と新2号
館の間を行くと、目の前に中
央大学最古（！）の建築物で
ある1号館が見える。その1
号館の向こう側の高層の建物
が3号館、その十階に理工学

部長室がある。昨年十一月に
理工学部長を拝命して以来、
学内外の数々の会議に加えて、
後楽園キャンパスに関わる様々
な案件が持ち込まれることを
思い知らされた。

その中には、老朽化した施
設の修繕に関わる報告もあり、
偶々そのときに後楽園キャン
パス全域の図面を見せられた。
改めて図面を眺めていると、
未だ足を踏み入れたことにな
い場所もあることに気が付い
た。キャンパス一番奥の丸ノ
内線の線路の沿った辺りであ
る。以前から、丸ノ内線の線

路を跨いで小石川後楽園側に
抜ける口を設けて、キャンパ
スを南北に貫く動線を確保し、
近隣住民の方々にも利用して
頂くという構想が、語られて
は消えてを繰り返していた。

この辺りのことかと思ひ、図
面と3号館十階からの眺めを
見比べた。話はそう簡単だと
は思えないが、そうした近隣
への配慮を忘れないキャンパ
ス作りが求められている。つ
いでに春日通り沿いの塀も取っ
払って、街と一体となった緑
の公園キャンパスを実現でき
ないか？私の秘かな夢である。



理工学部後楽園キャンパス

東京ドーム納涼野球会



7月14日ヤクルト戦



一塁側30人の大応援団で

白門文京恒例の、「東京ド
ム納涼野球応援会」は七月十

四日（月）のヤクルト戦。こ
の会の趣旨は、「熱帯の夜、
東京ドームで活躍する母校出
身のジャイアンツ・阿部、亀
井、澤村選手を応援しつつ、
冷たいビールを飲む……」と、
好評の内に六回目の今年でし
たが、最下位ヤクルトに十二
対一という、首位を走る巨人
ファンにとっては歴史的屈辱
的大敗で終了。

試合は四万四千・満員のド
ムの中、都区内支部友情応援
を得て、一塁側一角を占めた
三十名の白門大？応援団にふ
さわしく、日本を代表する人
気アーティストグループ、エ
グザイルのタカヒロの国家斉



ひとときわ目立つ白門大応援団

てようやくトリオ復活だ。
さて試合だが、二回裏阿部慎
之助・センター前へクリン
ヒット、その後一アウト満塁
から外野フライで阿部が生還
…、すかさず踊る中央大学ノ
ボリとCマーク、その日のオ
レンジ及び白門の栄光もこ
まででした。

その後あつという間にヤク
ルトは同点逆転と続き、球場
を埋め尽くすオレンジマーク
の悲鳴とため息を糧に最下位
チームが大豹変、元気のない
内海投手以下出てくる投手を
サンドバック同様に打ち込み、
先発全員安打と打ち放題に点
取り放題とあばれ放題。

終ってみれば、巨人軍・原
監督と同世代、中大出身・小
川監督のヤクルトに、ヒット
十九本…十二点を献上、首位
巨人は、小柄な石川投手の前
に散発五安打・やっとな点。
「ヤクルト飲んで元気を
出そう…」、などと化石
的独り言をいう人もなく、白
門文京大応援団は折角の売り
子さん「四〇〇円・半額生ビ
ール」もソコソコに球場を後
にした次第です、誠に疲れ
様でした……。

白門文京
東京ドーム納涼野球会
世話人 松沼 茂
（元西武ライオンズ応援団長）

年々日本の人口は減少をしています。

国立社会保障・人口問題研究所の将来推計によると、現在の人口一・二七億人が二〇四八年には一億人を割り、二〇六〇年には八六〇〇万人ほどになるとの予想の数字が発表されています。謂えば、今後五十年で約四千万人減少し、現在の人口の三分の二になっ



人口減少社会の中で 文京区議会議員 戸井田ひろし

に進行するといわれています。毎年一〇〇万人ほど総人口が減少する中で、実際、文京区においては人口増が続いています。この五年間で一・八万人増加し私たちが念願として

子育て世帯の割合が多いので、保育園が足りません。今年の4月にも一〇〇名の待機児がでてしまいました。待機児対策は国をあげての重要課題で、文京区においても

いた二〇万人を達成しました。人口が増えるということは、文京区の繁栄と税収増ということでは大変喜ばしいことですが、新たな課題を生み出しました。あたらしく文京区民となられた方は夫婦とも働く

解消に向けて重点施策として取り組みを進めています。この二年間で五〇〇名以上の保育所の定員拡大を図るとともに、公私立幼稚園においても延長保育数を増やしています。が、ニーズに追いつかない状況です。これは、文京区に限らず都市部に共通する大きな課題です。

私は、父親からお前は教員に向いていると言われ、悪くはないと思いつつ、国立北九州高専に合格したことからエンジニアを目指し学んでいました。しかし、「機械より人へ」の想いは強く、卒業時に、理系から文系へと転換し、法学部で法律をと昭和五十年、中大法学部に入学しました。

一路、司法試験と思いきや、親の期待を又も裏切り、テニスに夢中になり、サークル活



中央大学と私と教職 文京区教育長 原口 洋志

動中心の学生生活でした。教職課程の取得も考えましたが、法学部は無理だと聞かされ断念。頑張れば、取れなくはなかったと思いますが、そこで教職とは離れてしまいました。その後は、司法試験にも挑戦しましたが、就職の

れば、当然、教壇には立てません。ただし、指導主事などは、教員資格を持っており、教育長もそのような職員を指揮監督することから、法的な立場は、一応、教育公務員となります。

今、教育長の立場で教員の

時期になり、特別区職員上級試験を受け、中央大学としては最も一般的な？な公務員の道を歩み始めました。公務員でも教育委員会事務局など、教育に事務として携わることは出来ませんが、教員免許がなけ

仕事や子供たちの顔をみてみると、親の言う、教職の道もあつたのかなと少し後悔しています。ただ、出前授業として、小、中の子供たちの教壇に立った時、少しだけ教員の仕事ができただけに感謝して

この環境のなかでつくづく思うことは、「教育とは、人間そのものの存在性にかかわること」という言葉にあるように、教員の仕事は、本当に大変な職業であり、崇高な仕事、そして同時に自らも厳しい人生を余儀なくされる職業だなど感じており、このような場面にいる私も、さらに学び続けなければいけないと自戒するばかりです。

ある一家の会話

ママ: スパ!

パパ: ボウリング!

ママ: ポクシング!

ママ: ショッピング!

パパ: 野球観戦!

ママ: ホテルでディナー!

ボク: 遊園地!

ボク: ヒーローショー!

赤ちゃん: バブー!!

まともならなくても大丈夫。東京ドームシティなら、行きたいところ全部あります。家族みんなが楽しい東京ドームシティ。



東京ドームシティ わくわくダイヤル 03-5800-9999

東京ドームシティ 公式WEBサイト 東京ドームシティ で 検索

大井競馬場 万馬券ナイター

白門文京恒例の「大井競馬場ビールナイター」は、本会の浮田副会長がかつて、同競馬場の責任者との縁でスタート。会の趣旨は、馬主さん専用ルーム・大井競馬場特別貴賓室で、眼下に展開する馬達のドラマを生ビール片手に観戦しつつ、泡？よくば、一方の手で万馬券を鷺掴み……と馬くゆくはずがない不埒な企画です。

三・一一大震災で一時的



大井競馬場の紳士淑女

肃後、昨年ビール党の大会唱で復活。暗黙ルールである万馬券獲得金は、全員で銀座三ツ星店での豪遊……。今年こそはと万馬券党、ビール党ソレゾレに集合した三十名弱の紳士淑女であったが、今年も三ツ星店の願い叶わずの：散会でした。

中大スポーツ短信！

○春季東都大学野球
島袋で優勝目指すも、最下位。青学との入れ替え戦で辛くも一部残留。

○準硬式野球
神宮優勝・春秋九連覇。

○駅伝チーム
伊勢神宮、全日本大学駅伝は昨年に続き予選落ち。

○陸上短距離
全日本百の三位女部田祐は今春ドーム入社・女部田亮（学生百2連覇）の弟。世界ジュニア四百リレーの中大一年の川上は桐生（東洋大）等と銀メダル獲得。飯塚翔太（今春卒）は九月アジア大会に出場。

支部会員による信州を訪ねる小諸・松本悠遊会は、昨秋十一月十日から十一日までの一泊二日で催行した。

小林氏（中央大出身）に草笛を教えてもらい、二人が免許皆伝を授けられた。散策ののち、送迎車で浅間山二千米にある高峰高原ホテルに到着した。

夕食の宴は、フルコースの

白門文京旅行記

小諸・松本を訪ねる

第一日目
東京発長野新幹線あさま五一七号に六人が乗車し、大宮駅で一人、佐久平駅で一人の総勢八人の旅となった。佐久平駅で小梅線に乗り換えて小諸駅で下車し、有名な「草笛」にて、そば定食とそば焼酎を頂いた。

午後の散策にうつり小諸城址懐古園に入場し、三層の天守閣を持つ名城だった城址、藤村記念館、小山敬三美術館、動物園、小諸義塾記念館、徴古館などを見学した。途中、東屋で小諸草笛会の

フランス料理を味わい、食後は、二時間一本勝負のカラオケ大会を心ゆくまで楽しんだ。

第二日目

雲海を見下ろす大浴場で朝風呂を浴びた一行は、和食の朝餉をいただき、宿を出立し

く「やまが育蔵そば処」でほんとうに旨い天せいろそばとビールやそば焼酎を食した。

松本城公園を通りぬけ、黒門から入り城を見物した。国宝に指定される松本城は、現存する五重天守としては最古

着後、タクシーに分乗して食事処へ行ったが、上から視線で断られたので、松本城近

のもので、漆黒の外壁が魅力的だ。大天守に上り、狭間、石落、武者溜など敵の攻撃に備えた仕掛けがたくさんあり、四方から町並みを眺めた。その後、場内敷地に建つ松本市立博物館を見学し、徒歩にて



高峰高原ホテルの8人のサムライ

本物だからおいしい

当店では北海道幌加内農協と契約栽培したそば粉を使用しております。何卒楽しくお召し上がり下さい。

そばと地酒
そば処
湯島 多なか

TEL/FAX 03-5684-8150

駅に向かった。

松本発特急スーパーあずさ二二号に乗り、新宿駅で三々五々解散した。

（旅行幹事 鈴木雅幸）

危うし箱根駅伝! 伝統の誇り復活を

我が母校・中央大学といえど箱根駅伝と、だれもが認める駅伝の伝統校だったが、あつと言ふ間の王者転落。ここ数年は上位入賞どころか、かろうじて滑り込みセーフのシード権出場。

昨年は連続八十四回出場が悪夢のタスキ切れで茫然自失となった全国の白門応援団。かろうじて通過した予選会からの今年の箱根本番は、十五位と大惨敗!

来年の箱根出場を目指す十月の立川予選会に至っては「中大予選落ちか!」の活字が有力スポーツ紙に躍る始末だ。事、ここに至らしめた大学・監督・選手に大喝を下しつつ、超多忙の



たのむぞ中央! 大手町にて

中、箱根駅伝王者復活の為、応援団長就任の自動車大手「スズキ」の鈴木修会長に深謝。尚、関係者一同の奮起に期待しつつ、中央大学の箱根優勝まで頑張る所存だ。頑張れ、箱根駅伝!

駅伝ファン 小川 祝

ビール駄馬の 札所巡り



今年、弘法大師が開創した四国八十八札所が千二百年、また東京近郊・秩父三十四札所が七百八十年目との事だが、小生のふるさと、茨城県古河市でも「葛飾坂東四十一札所」という名の「小さな札所が開帳された。

地元では「観音祭り」と称し、十二年に一度、三月十八日から四月十七日の一ヶ月間午年に限って行われ、今年で三百年を迎えた。由来は四国や秩父札所等遠くまで詣でられない、地元庶民の為に江戸の昔、十四番札所の「宝性院」の秀伝和尚が開創。以来、各観音堂ではそれぞれ伝統に基づく行事・飾り付け・接待で来訪者をもてなしてきた。現在は自家用車やマイク

ロバスでのグループでの札所巡りが普通ですが、かつては徒歩が中心で、車が普及していなかった昭和二十九年までは、農作業用の馬車を乗合用に仕立て、近所の人達とのんびりと麦畑の仲の農道を巡ったようです。尚、十二番札所、清浄山・吉祥寺は午年生まれの小生の実家「松沼家」の菩提寺との縁で、十二歳より札所巡りを続けてきましたが、今年七十二歳・体重七十二キロのビール駄馬、次回は十二年後・八十四歳の健康は仏のみぞ知る:」という事で、今回は四十一札所全ての巡礼者に大変身。

家内と私のにわか巡礼者は、満開の桜の中、目出度く全堂走破。吉祥寺米山宗憲和尚の結願祝いを受け、二〇二〇年東京オリリンピックに向けて日本・中大応援団と



家内と弘法大師との三人行脚

して健康スタートを切った。十二年に一度のにわか巡礼者 松沼 茂



十二番札所吉祥寺のにぎわい

真打披露興行の 御礼を込めて

三代目
桂やまと

このたび真打に昇進させていただきました。平成一十一年の五月二十日に全寄席での披露興行を無事終えることができました。これもひとえに白門文京の皆様のご支援があつ

てこそだと思っております。心より御礼申し上げます。その気持ちをご今回の総会でお伝えしたくお時間を頂戴いたしました。そして『熊の皮』の一席を聴いていただきました。お人好しの甚平さんがしつかり者の女房の尻に敷かれて、というお断ですが……先輩方にも身に覚えがあるのか、とてもよく聴いてくださいました。誠にありがとうございます。真打になると「師匠」と呼ばれて弟子を取る事が許されず。これは「えらくなった」わけではなく、それだけの「格」になったことを自覚する瞬間です。この先もし弟子入り志願者が出てきたら、その者を弟子にする覚悟は私にできています。完成することのない芸能が【落語】です。実に未知なる可能性を秘めています。芸を磨き芸を伝えることが新たな落語を作り上げるために必要なことだと思っています。どこまでも上、上を目指して精進し続けます。そして同じ断を何度聴いていただいても常に新鮮な落語を演じてまいります。三代目 桂やまとを今後ともどうぞよろしくお願いたします。

さくらら会と 鈴木落語会

春三月、日本人なら花見会、白門文京もご多分に漏れず毎年花見行脚——椿山荘・小石川後楽園・鳩山会館・播磨坂桜通り・六義園と花見会場には事欠かないが、今年はお隣の上野公園にとやや遠出。満開の桜を午前中に愛でてのち、午後は不忍池畔の鮮魚料理・上野市場で花より団子会を経て、夜に上野鈴木へ直行する。

鈴木本では、白門文京会員の二つ目・桂才紫君がこのほど目出度く真打昇進。三代目桂やまと襲名披露を終えてのトリ興行の佳き日と、全て結構づくめ。東京ドームで鍛えた約三十名の「白門文京やまと大応援団」は、満席の上野鈴木と一体になって、桂やまと



桂やまとトリ興行の上野鈴木本

師匠の門出を祝った。
祈 千客万来・商売繁盛。

恒例の忘年会は ドームホテルで



北海道フェアで一同満腹

平成二十五年セパ頂上決戦は熱戦の末、東北楽天の初優勝で決着。小さな大投手楽天美馬学(平成二十一年中大卒)の前に阿部慎之助、亀井・澤村の中大勢も脱帽。常勝巨人も東北復興の起爆剤に貢献? ……巨人ファンも納得などと、勝手な憶測かつ東京五輪決定を酒の肴に十二月六日、白門文京忘年会を開催。
北海道フェア開催中の東京ドームホテル三階スーパードーム「リラッサ」へ集合の白門文京紳士淑女約三十名、豪華な食事と会員提供の山ほどのおみやげに大満足。

○ おみやげ提供者
中川会長、大久保治男、久代信次、野口舞兵、山住昭宏、ドームホテル社長、松田 茂、小川 祝、田村 悟、松沼 茂。

東京五輪に向けて

二〇二〇年・東京五輪まであと六年。日本人の平均寿命は男性八十・女性は八十六歳。戦前生まれもぎりぎり迎える事ができる。東京五輪の感激をもう一度。頑張ろう白門同志!

白門文京の



本会は今年結成十九年目。創立二十周年に向けて更なる充実を図ります。

平成二十六年の主な行事

- 中央大学学生会協議員総会 五月十七日(土) 駿河台記念館
- 大井競馬納涼ナイター観戦 六月二十三日(月)
- 平成二十六年度白門文京総会 六月三十日(月) 東京ドームホテル・後楽園飯店
- 東京ドーム納涼野球応援会 七月十四日(月) ドーム球場
- 納涼屋形船の会

八月二十一日(木) 前回同様白門42会との共催。浅草橋―隅田川―お台場遊覧
中央大学ホームカミングデー 十月二十六日(日)
秋の伊勢神宮旅行会 十一月十六日(日) 十七日(月)

白門文京忘年会

十二月上旬を予定。
○そのほか他支部行事への参加。また、新年会・その他の行事等を随時開催します。

母校ニュース

足立理事長の任期満了に伴い、五月二十六日、新理事長に深澤武久氏、常任理事に大村雅彦、松丸和夫、神崎茂治、林 勘市の四氏が就任。

学生会だより

久野修慈会長よりホームカミングデーへの協力依頼あり。なお、木下事務局長に代わり、新事務局長に清野強氏が就任。

会員ニュース

病氣治療中だった中川前会長は、治療に専念するため、ご本人の申し出により退任、相談役に就任いただきました。
○新会員
河西 紀道(かわにしのみち) 墨田区内日本そば店

オーナー
内布 諒(うちぬのりよう) 平成二十四年法卒・元中大応援団長、理工学部勤務
女部田 亮(おなぶたりのう) 平成二十六年法卒、東京ドーム勤務。日本学生選手権一〇〇米二連覇。本年六月の全日本一〇〇米で東洋大・桐生、慶応大・山縣に次いで三位の中大三年・女部田 祐君は弟。
藤井 輝明 医学博士。日本健康医学学会学術評議員。

○退 会
吉村 博夫(ご高齢の為) 元白門文京相談役。
○逝去
加藤 能久 元白門文京幹事。

会員募集

文京区支部では新しい会員を募集しています。中央大学を卒業され区内に住居または仕事場や、稽古場等がある方が対象です。女性会員大歓迎!
入会金 無料
年会費 三千元
連絡先||事務局 松しん内 松沼茂
電話(3814)7059
FAX(3814)0583

 <p>代表取締役 会長 土屋一男</p> <p>音羽印刷株式会社</p> <p>本社 〒113 0033 東京都文京区本郷一丁目三〇番八号 TEL 〇三(五五八)九一五五(代) 営業部 〒113 0033 東京都文京区本郷一丁目三〇番八号 TEL 〇三(三三八)一〇〇五(代)</p>	 <p>代表取締役 社長 久代信次</p> <p>株式会社 東京ドーム</p> <p>〒112-8575 東京都文京区後楽一丁目三番 電話 〇三(三八一)二二二(代表)</p>	<p>学校法人 中央育英学園 学校法人 東京育英学園</p> <p>理事長・学園長 野口 昇兵</p> <p>〒171-0022 東京都豊島区南池袋二丁目一六 電話 〇三(五九九)六一九三二 www.ikuwaikaku.ac.jp</p>	<p>駒沢大学名誉教授 武蔵野学院大学名誉学長</p> <p>白門文京 名誉会長 大久保 治男</p> <p>本宅 彦根城内井直彌学園所「理木舎」 (国特別史跡) 自宅 〒112 0011 東京都文京区千石二丁目一六〇四 TEL 〇三(三九九)四一八〇四四</p>
<p>代表取締役 株式会社 関東電気自主検査協会</p> <p>亀谷卓夫</p> <p>本社 〒112 0011 東京都文京区千石四丁目一四一三 TEL 〇三(三九九)四六三三(代) FAX 〇三(三九九)四八八三</p>	<p>東京都知事免許(13)第一八九三七号 公益社団法人 東京都宅地建物取引業協会会員</p> <p>代表取締役 株式会社 駒込不動産</p> <p>代表取締役 奥野光績</p> <p>本社 〒113 0021 東京都文京区本駒込二丁目一番八号 支店 〒170 0035 東京都豊島区駒込二丁目十五番八号 F J 電話 代表(三九一)八五四一 R 込 駒 東 五九一〇一五一</p>	<p>地方競馬全国協会</p> <p>理事長 浮田秀則</p> <p>〒106-1639 東京都港区麻布台二丁目一 電話 〇三(五八三)六八四二番 FAX 〇三(五八三)四八八一番 E-mail: ukita@narkaiha.go.jp</p>	<p>倉田金三郎</p> <p>〒170-0002 東京都豊島区巣鴨一丁目二三 電話 〇三(五九九)八二二二番</p>
<p>税務相談・経理相談 経営相談・税務申告 松田茂税理士事務所</p> <p>税理士 松田 茂</p> <p>〒114 0001 東京都北区東十条四丁目一四 キャピタルライフ東十条一〇四号室 TEL 〇三(三九九)八八四七(代) FAX 〇三(三九九)六一四八</p>	 <p>株式会社 アートクリア 専務取締役 田村 悟 佐久事務所</p> <p>TEL 090-5583-9663 FAX 0267-32-2612 〒385-0021 長野県佐久市長土呂1690-9 E-mail: ta-ankra.ya3to621ko@crest.ocn.ne.jp</p>	<p>弁護士 大野 雅樹</p> <p>四谷タウン総合法律事務所</p> <p>〒160 0004 東京都新宿区四谷一丁目七 松山ビル三階 電話 〇三(五三二)二二七二(直) FAX 〇三(五三二)二二七二(代) E-mail: ohno@yotsuya-town.jp</p>	<p> 中央大学</p> <p>学員会 白門45会支部 支部長 学員会 幹事</p> <p>相場有二税理士事務所 所長 相場有二</p> <p>〒113-0033 東京都文京区本郷四丁目25番9号 ブラウンハイツ本郷203 TEL (03) 3811-8302 FAX (03) 3811-8326 E-mail: aiba-jimusyo@ac.auone-net.jp</p>
<p>株式会社 松じん 松沼 茂</p> <p>〒113-0033 東京都文京区本郷四丁目二十六番八号 電話 〇三(三三八)四一七〇五九番 FAX 〇三(三三八)四一七〇五九番 URL: http://www.matsu-shin.jp/ メール: shigen@matsu-shin.jp</p>  <p>和紙工芸品・民芸品の企画・製作</p>	 <p>各種印刷物、ホームページ等 販売促進ツールの企画・制作</p> <p>トライアシック株式会社 竹本 方英</p> <p>〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-6-3 7階 TEL: 03-3556-6892 FAX: 03-3556-6894</p>	<p>司法書士 染野 郁郎</p> <p>〒112-0004 東京都文京区後楽2-21-20 TEL 03-5805-1591 FAX 03-5805-1592</p>	<p>社団法人落語協会 落語家 桂やまと</p>  <p>〒116-0011 東京都荒川区西尾久5-26-1 TEL&FAX 03-6458-2606 携帯 090-1429-0552 E-mail: katsura-saishi@nifty.com http://www.katsura-saishi.com/</p>
<p>日本の象徴・富士山が美保の松原をお供に世界遺産へ。今年の富岡製糸所と嬉しい便りの中、食文化の代表「うなぎ」が絶滅危惧種。そう言えばコンクリート護岸の故郷の小川からメダカが消えて久しい。守ろう日本の自然と文化。(松)</p>		<p>編集委員 松沼 茂、加藤康人 鈴木雅幸、田村 悟、相場有二</p>	